



こども相談室だより

No. 10

平成29年5月発行

こんにちは。

“こども相談室だより”第10号を発行します。
今回は“子育ては大変…困った時には相談を”と
“子の成長に祝福と応援と”です。

発行元

長野市こども未来部

こども相談室

TEL 026-224-7849

子育ては大変 なものです。

子どもが生まれ成長するとともに、親への要求や期待が
大きく変わり、そのたびに心配事も変化していきます。

2つの考え方があるよね

だけど

だから

【大変だけど、子育てを楽しもう】

こんなかわいい姿今しかないから楽しもう。
わからないことは、聞いてみよう。
子どもの成長がうれしい。

周囲の人と良い関係を築き、たくさんお話
して子育てを楽しみましょう。

周囲の人に話せないような心配事があり
ましたら、こども相談室でもお話をお伺いし
ています。

【大変だから、子育てに疲れたよ】

どうしていいかわからず、疲れた。
子どもの成長に伴い、心配事が生まれた。
思ったようにやりたいのにできない。
私の愚痴や心配事を聞いてほしい。

身近にいる人に話せるとよいですね。
話すだけでも、気持ちが軽くなるし、
手助けをしてくれるかもしれませんね。
身近にいないときは一人で悩まずに、
こども相談室に電話してみてもいいか
でしょうか。

自分なりの子育てで
大丈夫だよ

【こども相談室では、相談をお受けしています】

こども相談室は、子どもに関する相談の総合的な窓口です。0歳から18歳の
子どもと保護者を対象に、年代によって変わる様々な悩みに対応します。

お電話は、匿名でも名乗っていただいてもどちらでもかまいません。お話を
伺いながら、必要に応じて専門機関のご案内をしています。

また、面談で相談をお受けすることもできます。

電話番号 (026) 224-7849

場 所 長野市役所第二庁舎2階

こども未来部 子育て支援課 こども相談室





子の成長に祝福と応援と



1 育ち、育てられ

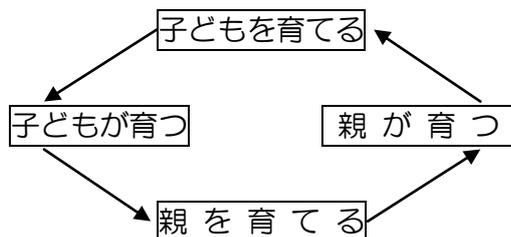
お茶の水女子大学教授篁倫子（たかむらともこ）先生が講演の中で「人は育てられ、育つ」というお話をされました。

「子どもは親に育てられて育ち、親は子どもを育てて親になる」と語られていた部分を、皆さんにも紹介します。

篁先生は「わが子の育ちを実感する瞬間は、親は喜びと感謝の気持ちに包まれ、親として祝福される。この体験が親の育ちをうながし、昨日よりも育った親が、子どもの育ちを支えていく」と説明されました。

そして「育ち、育てられるは、循環のプロセス。問題を抱えた子とその親への支援とは、この当たり前の『循環』が途切れないようにしていくことなのであろう。」と、講話を結ばれました。

「育ち、育てられ」の循環



相談員の私は、上記の「育ち、育てられ」の循環に立ち会うことが度々あります。

大事な場に関わらせて頂いていることを自覚させられました。

「2」に、最近感じたことをお伝えします。

2 子どもと保護者の周りの方々へ

子育ては家に居るからと、片手間にやれるようなことではなく、大仕事だと思います。

相談者の皆さんとの話の中から、①や②のような想いを感じることがあります。

- ① 子育ての責任の重さを自覚し、理想の育児が出来ていないと自分を責めている。
- ② 当たり前のはずの子育てが、どうしても自分には、思うように出来ないのかと不安を感じる。

「子育て」の応援は、関係者や専門家だけではなく、子どもと保護者の周りの方々、社会の役目でもあるのではないのでしょうか。

心がけたい 応援ポイント

- * 対象者である子どもと保護者の話を同じ目線で、よく聞く。
- * 求められたらアドバイスをする。押し付けはしない。
- * 求められたら自分にできる手助けをする。
- * 求められなかったら、子どもの安心感と、保護者の自信を高める見守り役にまわる。

助けを必要としている時の寄り添いは、自らの歩みを引き出していきます。

支援は少しずつ引いていくものだと思います。けれど、不安定な時に、出過ぎず、傍らに居てくださる方がいたら、どんなに心強く、ありがたいことでしょう。

その場に関わる者は、篁先生のおっしゃる、親の育ちを温かく応援して「育ち、育てられ」の循環を見守っていきましょう。

